茨城県新人演奏会のあゆみ

本演奏会は、茨城県の有望な新人音楽家に発表の機会を提供するとともに、茨城県の音楽文化の向上を図る目的で、昭和50年に第1回演奏会を開催しました。
これまでのオーディション応募者は約2,200名。本演奏会出演者は900名を数え、本演奏会に出演した演奏家たちはその後、ソロデビュー、プロオーケストラへの所属、指揮者、指導者として後進の育成に奮励するなど、国内外でさまざまな活躍を見せています。

過去5年間の新人賞受賞者一覧

第47回（2021.9.26）	新人賞：矢口 真由美（ソプラノ）・西山 ひかる（オーボエ）	奨励賞：鈴木 貴之（和太鼓）
第48回（2022.9.18）	新人賞：杉田 愛実（クラリネット）・佐伯 日菜子（ピアノ）	奨励賞：長谷 由香（箏）
第49回（2023.9.24）	新人賞：小林 日和（ヴァイオリン）	奨励賞：黄 在麒（バリトン）
第50回（2024.9.29）	新人賞：井坂 実樹（フルート）・高辻 瑶子（ヴァイオリン）	奨励賞：殿内 佐和子（ユーフォニアム）
第51回（2025.9.28）	新人賞：藤枝 麻里花（フルート）	奨励賞：森 和樹（サクソフォン）・坂入 千智（オーボエ）

第１部

唯是震一:神仙調舞曲

たかはし
1. 高橋 ここみ　箏

取手市出身。聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校卒業。生田流箏曲、地歌三絃を樋口雅礼瑤、田辺雅美和の各氏に師事。第7回利根英法記念邦楽コンクール「古典」にて銅賞と相生賞を受賞。2022年、2024年おやかま全国高校生邦楽コンクールにて奨励賞を受賞。2024年ウズベキスタン共和国文化省企画運営の第13回国際音楽祭に参加。世界文化遺産であるサマルカンドのレギスタン広場にて演奏。現在、東京藝術大学音楽学部邦楽科箏曲生田流専攻2年に在学中。

イベール:フルート協奏曲より 第3楽章

いのうえ　か や の
2. 井上 佳弥乃　フルート　ピアノ:與口 理恵

下妻市出身。令和5年3月茨城県立下妻第一高等学校卒業。フルートを故・玉田京子、青木優子、名雪裕伸、井坂実樹、清水和高の各氏に師事。各種コンクールにおいて受賞歴多数。コンクールでの成績が認められ、令和7年度東京学芸大学学生表彰を受賞。海外研修にも参加し、Dorian Music Flute Festival2024(台湾)では成績優秀者選抜コンサートに出演。現在、東京学芸大学教育学部学校教育教員養成課程中等教育専攻音楽コース4年次に在学中。

ガーシュイン(長生淳編):ラプソディー・イン・ブルー

きたじま　はやと
3. 北島 勇人　サクソフォン　ピアノ:井上 寛士

古河市出身。栃木県立小山高等学校、茨城大学教育学部音楽選修卒業。サクソフォンを大栗司麻、田中拓也の各氏に師事。 茨城県立特別支援学校の教諭として勤務しながら、休日に演奏活動を続け、令和2年茨城県新人演奏会出演、令和6年ナゴヤサクソフォンコンクール一般の部第1位、令和6年県民コンサート(I)特賞受賞、令和6年「茨城の名手・名歌手たち」に出演。ほかにアクアワールド茨城県大洗水族館等各種イベントへの演奏、自主演奏会開催など精力的に活動している。

リスト:パガニーニによる大練習曲より 第3番 「ラ・カンパネラ」 嬰ト短調
リスト:愛の夢—3つのノクターンより 第3番「おお、愛しうる限り愛せ」変イ長調

いしい　もえか
4. 石井 萌加　ピアノ

筑西市出身。並木中等教育学校、慶應義塾大学文学部卒業。東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻修士課程修了。現在、同研究科博士課程に在学中。研究テーマは「20世紀前半ドイツ語圏におけるブラームス受容とドイツのナショナリズム」。研究と並行して、県内でのピアノ演奏付き音楽史講座講師を務める。東関東学生ピアノコンクール上級部門最優秀賞、日本バッハコンクール一般A部門金賞およびベーレンライター賞(第1位)などを受賞。ウィーン夏期国際音楽ゼミナールを受講。所属大学の選抜コンサートに複数回出演。ピアノを泉對優子氏に師事。

山田耕筰:《AIYANの歌》より
「NOSKAI」「かきつばた」「AIYANの歌」「曼珠沙華」「気まぐれ」

こまつざき　そ ら
5. 小松﨑 爽来　ソプラノ　ピアノ:吉原 優羽

潮来市出身。令和6年3月に茨城県立鉾田第一高等学校を卒業。現在は宇都宮大学共同教育学部音楽分野3年在学中。第6回国際声楽コンクール東京の予選を通過。通過時に優秀賞を受賞。声楽をこれまでに吉水淳子、田代直子、小原伸一の他、東京藝術大学名誉教授である平松英子の各氏に師事。オペラアリアや日本歌曲を中心に研鑽を積む。今後も聴き手の心に響く豊かな表現を目指し、声楽の研究と技術向上に励む。

ラウタヴァーラ:ピアノ・ソナタ 第2番「火の説法」作品64

ほんだ　さ き
6. 本多 早紀　ピアノ

東海村出身。茨城大学大学院教育学研究科音楽教育専修修了。ピアノを小林由佳氏に師事。第17回ベーテン音楽コンクールピアノ部門(全国大会)銀賞受賞(金賞該当者なし)。高校時代よりコーラスを学ぶ。教職に就いた後も音楽指導等をしながら自身の研鑽を積む。勤務校で合唱指導をして全日本合唱コンクールで全日本理事長賞を受賞。現在、茨城県立高等学校教諭。

R.V.ウィリアムズ:バステューバと管弦楽のための協奏曲

たなか ひかる
7. 田中 輝　テューバ　ピアノ:高橋 朋之

ひたちなか市出身。令和4年3月茨城県立取手松陽高等学校音楽科卒業。令和8年3月東京藝術大学音楽学部器楽科管打楽専攻卒業。テューバを仁藤雄貴、青島可奈、佐藤和彦の各氏に師事。室内楽を小原裕樹、栃本浩規、古賀慎治の各氏に師事。現在、フリーランス奏者として演奏活動を行うほか、茨城県内外で音楽教育にも携わっている。

ショパン:舟歌 嬰へ長調 作品60

かみやま　か ほ
8. 神山 華穂　ピアノ

かすみがうら市出身。令和3年3月茨城県立取手松陽高等学校音楽科卒業。令和7年3月茨城大学教育学部学校教育教員養成課程音楽選修卒業。第28回ヤングアーチストピアノコンクールE2グループファイナル入賞。2024年度茨城県芸術祭県民コンサート(I)奨励賞受賞。ピアノを藤井亜紀、東誠三、田中宏明の各氏に師事。現在、茨城大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻教科領域コース音楽科2年在学中。

第２部

グランジャニー:ラプソディー

こかど　もえみ
9. 小門 萌美　ハープ

水戸市出身。令和4年3月茨城県立水戸第三高等学校音楽科卒業。令和8年3月東京藝術大学音楽学部器楽科弦楽専攻卒業。バーゼル国際ハープコンクール2024第2位。第34回日本クラシック音楽コンクール大学の部第3位。ハープを迫元宣子、佐藤杏樹、早川りさこ、福井麻衣、高野麗音、景山梨乃、吉野直子の各氏に師事。室内楽を柳瀬省太、吉田篤、高木綾子、竹山愛の各氏に師事。現在、同大学別科課程に在学中。

宮城道雄:手事

こむろ
10. 小室 みゆき　箏

埼玉県川越市出身。平成28年3月星野高等学校卒業。令和4年3月東京藝術大学音楽学部邦楽科箏曲生田流専攻卒業。3歳より箏、17歳より三絃を始め、これまでに青木まり、星島真裕子、柳井美加奈の各氏に師事。「和楽器をもっと身近に」をテーマに福祉施設や学校公演に出向いたり、ワークショップを開催するなど箏の普及に努めている。

ラーション:サクソフォン協奏曲 作品14より 第1楽章

かとう　ゆうき
11. 加藤 裕貴　サクソフォン　ピアノ:原田 愛

小美玉市出身。令和3年3月水城高等学校卒業。令和7年3月洗足学園音楽大学音楽学部音楽学科管楽器コース卒業。サクソフォンを田村真寛、ジャズサクソフォンを山田拓児の各氏に師事。室内楽を江川良子、貝沼拓実、本堂誠の各氏に師事。Ibaraki Community Music Blue Roseに所属し、演奏活動や後進の指導にあたる。フリーランスとして、演奏会やブライダル場面での演奏も行っている。

リスト:《伝説》より
第2曲"水の上を歩くパオラの聖フランチェスコ"

わたなべ　ゆ な
12. 渡邉 柚菜　ピアノ

茨城県那珂市出身。明秀学園日立高等学校を卒業後、宇都宮短期大学音楽科ピアノ専攻を卒業。同大学研究科を修了。藤田美歩氏、新井啓泰氏に師事。在学中には協奏曲のソリストとしてオーケストラと共演。現在はピアノ講師として後進の指導にあたるほか、伴奏やアンサンブルを中心に幅広く演奏活動を行っている。

カルダーラ:たとえつれなくとも
モーツァルト:歌劇《ドン・ジョヴァンニ》より "ぶってよマゼット"

こぐち　れいあ
13. 小口 怜亜　ソプラノ　ピアノ:戸田 新那

茨城県出身。茨城キリスト教学園中学校高等学校を卒業。在学中はコーラス部に所属。現在、武蔵野音楽大学演奏学科声楽専攻1年に在学中。これまでに砂川涼子、赤津邦子の各氏に師事。

徳山美奈子:ムジカ・ナラ 作品25

わかすぎ　はやと
14. 若杉 颯斗　ピアノ

新潟県新潟市出身。令和4年3月新潟市立万代高等学校卒業。令和8年3月茨城大学教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース音楽選修卒業。第17回熊谷ひばりピアノコンクールG2部門金賞、第17回全日本ピアノオーディションPublic部門上級金賞他を受賞。これまでにピアノを佐藤由希、田中宏明の各氏に師事。現在、茨城県内の高等学校に勤務。

スパーク:テューバ協奏曲

かわせ　みつひろ
15. 川瀬 光弘　テューバ　ピアノ:福澤 佑里子

水戸市出身。茨城県立緑岡高等学校卒業。茨城大学教育学部人間環境教育課程環境コース卒業。小学校3年生から吹奏楽部でテューバを始め、大学時代には茨城大学吹奏楽団の学生指揮者を務めた。第45回茨城県芸術祭「県民コンサート(I)」に金管六重奏で出演。現在は茨城県立高等学校の理科教諭、吹奏楽部の副顧問として勤務しながら、社会人の金管バンドやアンサンブルで自身の音楽活動を継続している。

リスト:超絶技巧練習曲より 第11番「夕べの調べ」

おまた　も も か
16. 小俣 萌々花　ピアノ

守谷市出身。東京音楽大学付属高等学校ピアノ演奏家コース3年在学中。Sumino Piano Academy 在籍。ピティナ・ピアノコンペティション、A2級入賞者記念コンサート出演をはじめ、A1級～E級の各級で全国大会金賞およびベスト賞を受賞。ショパン国際ピアノコンクール in ASIA、第18回・第21回アジア大会にて金賞を受賞。現在、角野美智子、吉田友昭の各氏に師事。

※演奏順は主催者の抽選により決定